

## Q. 子どもたちの読書環境を整備・充実し読書を推進せよ

## A. 図書室の除籍本を学校・保育園・しいの木に譲っている



栗田 昌子 議員

**Q** 来年度以降も社教センターに司書資格のある職員の配置を。

**A 総務部長**

司書資格のある職員の配置は考えていません。

**Q** 書窓の発行や図書選定はどうか。後退ではないか。

**A 副町長**

将来的にも体制・人の配置は、出来る限りの対応をします。

**Q** 図書室職員の研修は。

**A 教育部長**

毎年5月、愛知県図書館開催の新任研修に参加させている。

**Q** 図書室関係のネットワーク計画は。

**A 教育部長**

ネットワーク化に向けて研究する。

**Q** 研究でなく、予算化すべきである。

**A 教育部長**

予算要求しています。

**Q** 本の利活用の実態と推進計画は。

**A 教育部長**

図書室の除籍本を学校・保育園・しいの木等に譲っている。情報化終了後は、重複購入を避け、今以上のジャンルの図書購入が可能になる。

**A 生活福祉部長**  
しいの木児童館では、幼児・児童が自由に絵本を読んだり保護者が読み聞かせている。

**Q** あまり利用されていないのが実態。運用の工夫や計画を立案できる状況にない。原因は正職がないこと。正職を置くべき。

**A 副町長**

豊山町の住民サービスが見劣りしないのは、職員削減による。青山保育園の指定管理が成功すれば、民間のノウハウでスナップアップできる。

**Q** 社教センターの絵本コーナーの大幅な改善を。

**A 教育部長**

遊戯室で読み聞かせなど、親子読書が楽しめる。

**Q** 学校の図書室に地域のボランティアの活用を。

**A 教育部長**

開かれた学校作り、地域との協働は順当な手段である。しかし、規模が小さい学校でたくさん人間はいらぬが、今後ボランティアの必要が考えられれば、考慮したい。



読み聞かせは愛情体験です